

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 1月 15日

事業所名 はびりすぽと 保護者等数(児童数)23名 回収数 17名 割合 74%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16				1 まだ一度も見学に行っていないため	標準的広さ約16㎡に対し当時事業所では支援室30㎡と遊戯室50㎡を確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1			2 まだ一度も見学に行っていないため	法令に定められた人員数で保育士や教諭、作業療法士を配置して支援を行っています。今後も研鑽を積んで支援に当たります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	13				4 まだ一度も見学に行っていないため	個別支援を行っているために、個々に合わせた環境設定を行っています。バリアフリーに配慮した環境になっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に 合わせた空間となっているか	16				1 まだ一度も見学に行っていないため	清掃を毎日行っています。また目的を意識した空間づくりを行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか	16				1	保護者のニーズを確認しながら標準化された評価を行い、客観的なデータを基に支援計画を作成していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援カ イドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	16				1	家族支援、地域支援では、当事者が何を求めているか聴き取りから行っていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	16				1	支援内容を具体的に意識して計画を作成し、沿えるよう工夫します。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫 されているか	12				5	定期的なカンファレンスを行い個別支援方法を検討しています。必要な支援道具も随時新しく取り入れていきます。いつでも子どもたちの活動を見学にいらしてください。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	11		3		3	ハロウィンパレードへの参加があった 子ども園や幼稚園を併用している利用児童が多く、日常より交流できています。子ども園主催のイベントに参加希望があれば参加していきます。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					契約時に丁寧な説明を行っています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	17					契約や面談時に支援計画について丁寧に説明を行い同意を得ます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	9	2	1	5		計画はありますが実現できていません。ペアトレの開催を検討していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	1	1			連絡ノートや電話連絡等を活用して些細な事も情報共有していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16		1			定期的な面談を行っています。気軽に保護者が相談を伝えられるようなシステム(ラインオフィシャルの利用)を検討しており、4月運用を目指します。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2	2	4		気軽に保護者が相談を伝えられるようなシステム(ラインオフィシャルの利用)の運用により様々なご意見を頂き、必要に応じて集会を開催します。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1	1	1		普段より意見を言いやすい関係づくりをし、苦情に対して迅速、適切に対応します。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			1		連絡ノートや電話連絡等を活用して些細な事も情報共有していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	2	1	4		1週間毎のホームページ更新を行っています。自己評価結果も毎回、発信していきます。案内などはラインオフィシャルにて発信します。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15	1		1		職員教育を受けて個人情報取り扱いに注意しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	5		4		定期的のマニュアル確認を行っています。内容もホームページに掲載していきます。案内などはラインオフィシャルにて発信します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	4		4		定期的に避難訓練を行っています。内容もホームページに掲載していきます。案内などはラインオフィシャルにて発信します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	2			毎回の利用時に喜んで通っているのでも満足	子どもが楽しんでトレーニングができる環境づくりに努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	1				結果の伴う支援を行えるよう、職員一同研鑽を積んでいきます。

\*1 この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。